

**13:30**

**ステップ1：はじめに**

10分 ・本日のプログラムを説明します。

**13:40**

**ステップ2：コミュニティ診断プログラムの実施報告をしてください**

30分 ・グループ内で前回宿題としてお願いした「コミュニティ診断ワークショップ」の実施状況と結果について各自報告して下さい。

**14:10**

**ステップ3：コミュニティ診断アンケートの読み取り方**

20分 ・コミュニティ診断アンケートの結果を読み取るヒントについてお話しします。

**14:30**

**ステップ4：コミュニティ診断アンケートの結果を分析してみましょう**

30分 ・「一体感」、「参加」、「活力」のそれぞれの項目がよい評価の事例から、その理由を推理し、学ぶべき点をポストイットに書き出して下さい。

休憩 （10分）

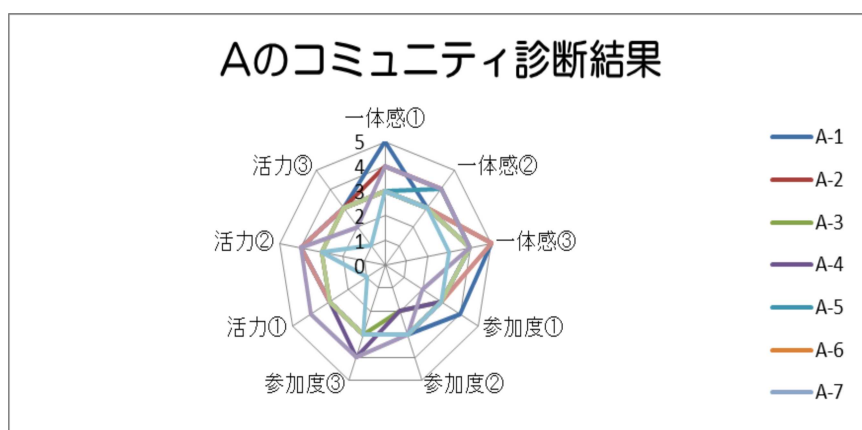
**15:10**

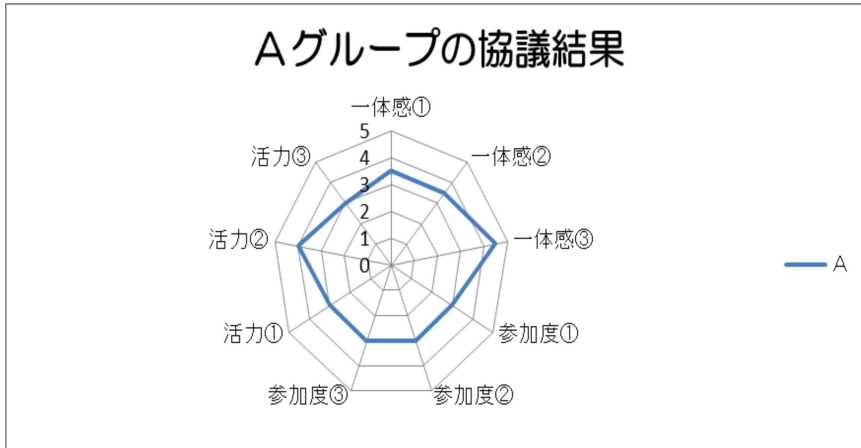
**ステップ5：コミュニティ改善のための処方箋を考えて下さい**

15分 ・各自のコミュニティ診断表について、まずはそれぞれで「コミュニティ改善のための処方箋」を記入して下さい。

25分 ・グループの中で改善課題が比較的明確な事例を1つ選んで、改善策に対してさらに検討を加え、処方箋をブラッシュアップして完成させて下さい。

**【A地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】**

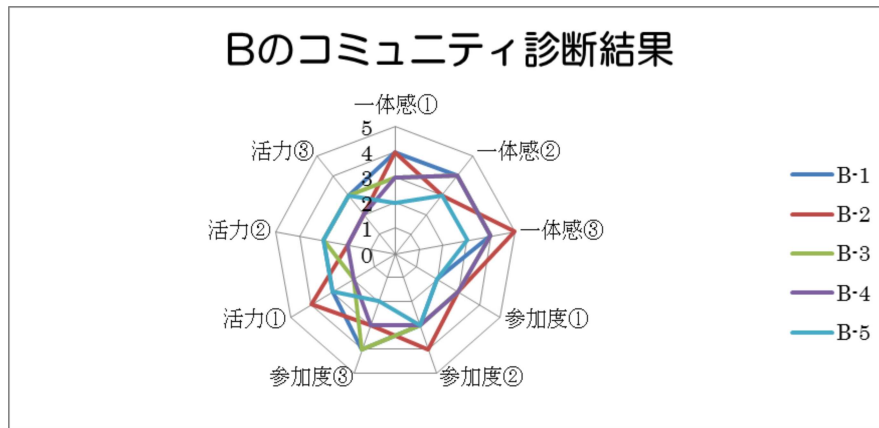




※A地区は、7人のコミュニティ評価の平均点をコミュニティ評価とした。

病名	高齢化マンネリ化症 [グループA]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政からNPOの人を参加させることを自治会に働きかける</li> <li>行政は1つのNPOにだけにすることは平等でなくなるのでできない。これらの理由をなくす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の意識を変える</li> <li>民間から来た人をふやす</li> </ul>
住民自身のできるこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の話し合う機会を作る、話し合いの場には多くの人に参加できること</li> <li>地域毎に目標をつくっていく（地域のニーズを集める方法も考える）</li> <li>続ける事をする人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれがやるのかが不明確である、幹をつくる</li> <li>住民の活動をどうするかを毎日に、機会あるごとに話し合う</li> <li>新しい人につねに入会を勧める</li> <li>行事も行ったあとで行事の反省会を開いて参加者の意見ももとめる</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会ある毎に参加できる様に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンネリ化の打破</li> <li>参加する意識を見つけられる様にする</li> </ul>
その他の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金がもらえるのでその分だけしかなくてマンネリ化している</li> <li>日曜日には作業しないなど、まとまった意見を集約して出せないとだめ</li> <li>快適度が悪い</li> </ul>	

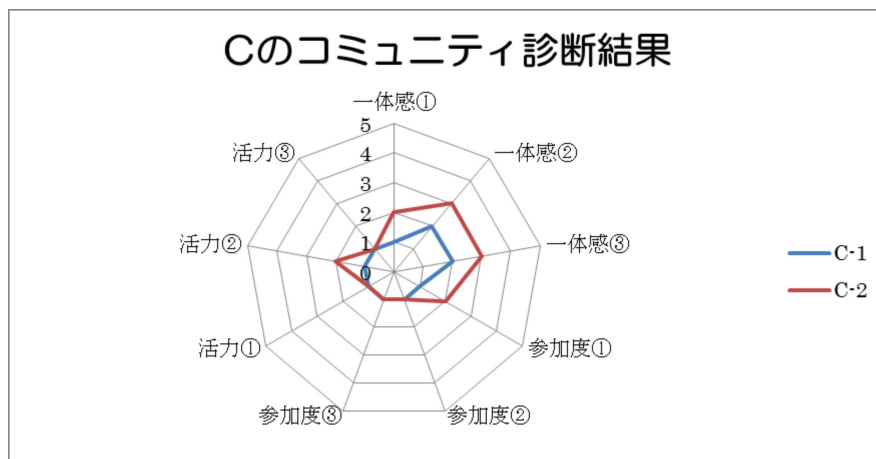
【B地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】



※Bグループは、各自のコミュニティ診断の結果をまとめることはしなかった。

病名	働き手世代の参加不足症 [グループB]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事として住民の融合を図ってほしい</li> </ul>	
住民自身のできるこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代の人の参加を計る</li> <li>地域の融和を図る</li> <li>子供会の実施</li> <li>盆踊りの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入世帯に対し閉鎖的な態度を解消</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)		
その他の可能性		

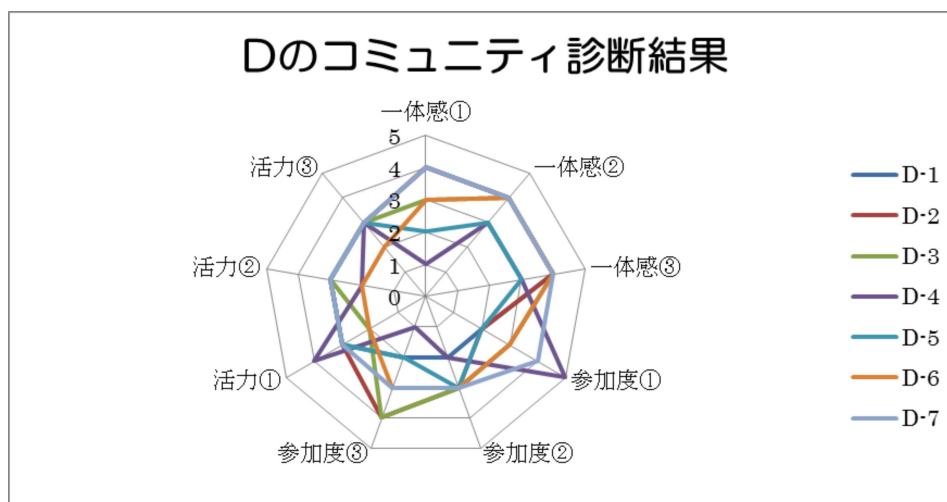
【C地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】



※Cグループは家族で行ったコミュニティ診断、結果をまとめることはしていない。

病名	無関心病 [グループC]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空き家の活用</li> </ul>	
住民自身のできるこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サロンの開設</li> <li>• 向こう三軒、両となりの目配り</li> <li>• 若年層の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域創生</li> <li>• 婦人会組織の再生</li> <li>• 子供の育成</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)		
その他の可能性		

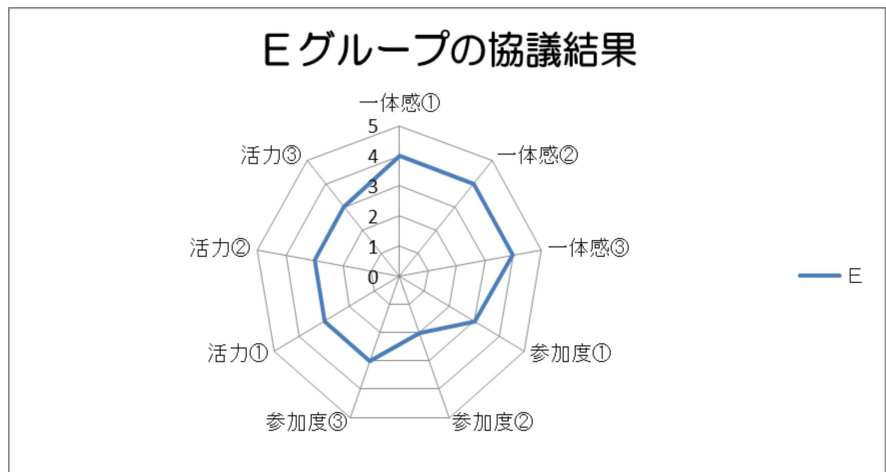
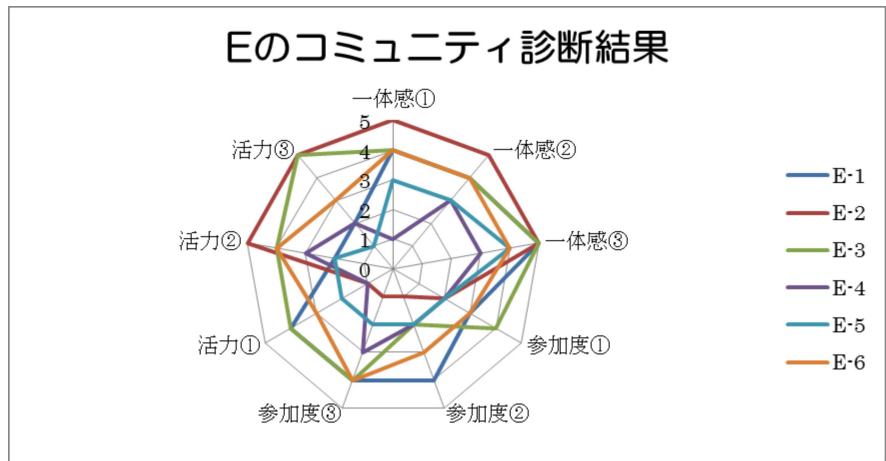
【D地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】



※D地区も各自のコミュニティ診断の結果をまとめることはしていない。

病名	無関心病 [グループD]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コミュニティバス路線を追加</li> <li>• デマンドタクシー(乗合タクシー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 条例等で義務化 (災害時住民名簿作成)</li> </ul>
住民自身のできるこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夏祭り等のイベントを開催</li> <li>• 多くの人参加するイベントを実施</li> <li>• 地域のあいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 月1回集まれる場をつくる</li> <li>• 災害時住民名簿作成</li> <li>• 30～50歳の年代を地域活動に参加させる(子ども会)</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワールドカフェ開催</li> </ul>	
その他の可能性		<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちづくり協議会設立</li> </ul>

【E地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】

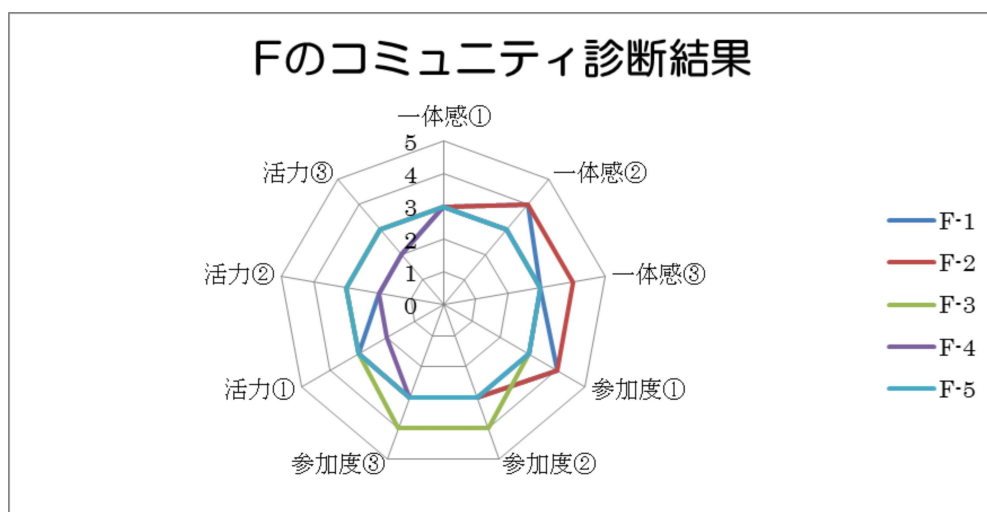


※E地区は、6人の診断結果を一つのグラフにまとめている。

病名	地域へ引込思案症候群 [グループE]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化時代に向けた意見交換、懇談会の開催</li> <li>・ 行政の横断的連携による統一した住民の意見を聞く懇談会の設定</li> <li>・ 各年代別調査、話し合いの場の設置支援</li> <li>・ 情報の伝達、手段を多様に会報、掲示板、若者向けIT活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年後のまちの姿、施策の方向性を示し説明会の開催</li> <li>・ 小、中学校での地域行事に参加する様、方全体制作る</li> </ul>
住民自身のできるこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族での話し合い、若者、孫への参加した時の報告、参加をうながす</li> <li>・ 井戸端会議で楽しみながら出た問題意見を地域の活動主体(まちづくり協議会)に伝える。</li> <li>・ それぞれの(年代別)のグループの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動の地域への報告、生涯健康維持への人から人へ伝える</li> <li>・ 話し合いに参加する人の輪を広げる(特に若い人・次世代)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>連なりが無いので各グループの代表者を決める</li> <li>誰でも参加できる話し合いの場をつくる</li> </ul>	
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人の組織、サークル活動、体育推進委員、PTA等との情報交流</li> <li>各班長は待ちの体制では無く、積極的に各家庭を訪ね、班長会にて意見を言う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題の発掘と地域の事は地域で解決できる地域計画を作成して評価改善して進める</li> <li>町内会長会が低調である</li> <li>各班の意見集約が出来ていない</li> <li>波風立たない</li> </ul>
その他の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>万一の災害に備えての意見交換会、自主防災組織活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業OBと企業が一体となった2つのCSR活動の推進(COPORATE、CITIZEN)</li> <li>利己から他己へ「私」から「私たち」へ意識改革</li> <li>個人が抱える不安を出し合って長期的にしくみづくりを行う</li> </ul>

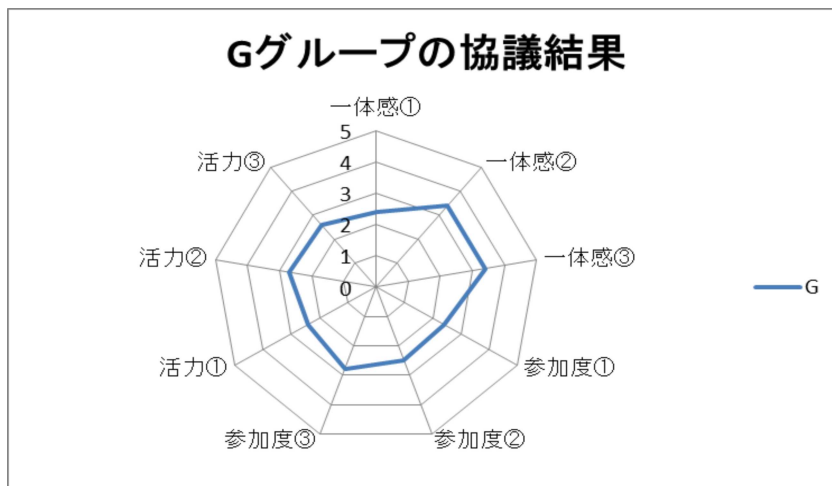
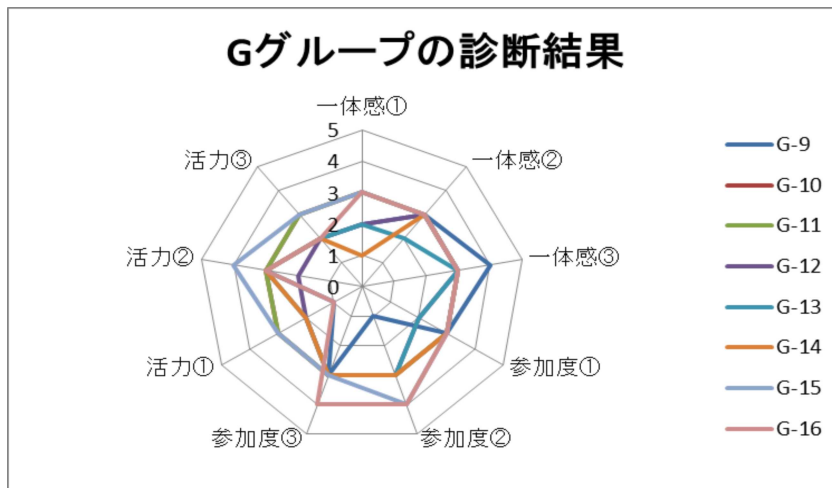
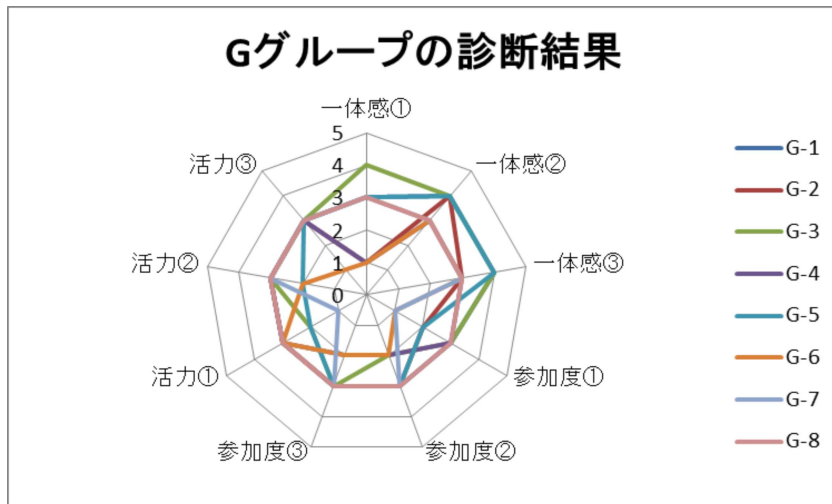
【F地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】



※F地区も各自のコミュニティ診断の結果はまとめていない。

病名	[グループF]	
	短期療法	長期療法
行政のすべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金を出す</li> <li>各種、組織、団体の呼び掛け</li> </ul>	
住民自身のできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを多く開催できる</li> <li>家一人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が活躍できる機会が増える</li> <li>年中行事の掘り越し</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人集め</li> <li>寄付金</li> <li>若者中心のボランティア団体をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、企業、NPO→運営委員会の立ち上げ</li> <li>協力関係</li> <li>まちづくり協議会</li> <li>お金が回るしくみづくり</li> </ul>
その他の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長者(長老)、アイデア、知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後継者、ボランティア育成</li> <li>魅力あるふるさと創成</li> </ul>

【G地区のコミュニティ診断の結果とコミュニティ改善のための処方箋】



※G地区は参加者が多く16人のコミュニティ診断結果の平均値をとって一つの結果にまとめている。

病名	何もやりたくない病、誰かに何かをやってもらいたい病 誰かがやってくれるだろう病 [グループG]	
	短期療法	長期療法
行政の すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず運営資金が必要、ボランティアでも交通費と弁当代はほしい</li> <li>ボランティア団体に助成金を行政(社協)が支援している市町村は活性化している、発展している</li> </ul>	
住民自身のできる こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>街づくり協議会の立ち上げ</li> <li>住民活動の活性化の為に勉強会の立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会、勉強会の継続</li> </ul>
地域の活動主体に期待したいこと (NPO、企業等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいレストランの設立、三世代の交流の場、空き家の利用</li> <li>市民農園で作った野菜等を利用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民農園の設立、競馬場の厩舎の再活用と町民の活力アップを目的</li> </ul>
その他の可能性		

### 15:50

#### ステップ6：グループの検討結果を発表してもらいます

30分 ・グループの処方箋をもとに全体で話し合います。

### 16:20

#### ステップ6：まとめ

10分 ・本日の研修の結果を振り返ります。